
邪神な彼女と探偵活動

佐鷲 遙水

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

邪神な彼女と探偵活動

【Nコード】

N0240V

【作者名】

佐鷺 遙氷

【あらすじ】

「我こそは千なる異形の神、ナイアラルトテップ。この名にかけてそなたに力を貸すことを約束しよう」

夢の中で初めて彼女に出会ったとき、彼女は邪神の名を名乗り、僕は大好きでもない自分の名を名乗った。

そして今。

彼女は僕と探偵活動をしている。

「今回も…手伝ってくださいか、ナイさん？」

「無論のこと。我は這いよる混沌ナイアラルトテップなれば」

（前書き）

初めてです。

ナイさまがすごくいい人になっています。

オリ設定有です。

よろしく願います。

僕が彼女に初めて出会ったとき、彼女は退屈そうにその玉座に座っていた。

「…ほう。この『夢の国』《ドリームランド》に人の子が訪れるとは…。かれこれ20年ぶりと言ったところだろうか？歓迎しよう。我こそは千なる異形の神。這いよる混沌ナイアラルトテップと人は呼ぶ」

「『夢の国』《ここ》に来るということはそなたも人の見識より外れた者か？それなれば己が悩みをいうがよい。我が解決に協力してくれようぞ。……何？なぜ私が『人間』ごときに協力してくれるのか？』だと？昔のことだが、髭のごとき触手を生やしたあの忌々しきエルダーゴッドに説教されたことがあつてな……。それで降私は人に協力してやっている。やればこれがなかなか楽しきものだ。見返りはいらぬ。私の楽しみのために私の申し出を受けるがよい」

「我は這いよる混沌ナイアラルトテップなれば」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0240v/>

邪神な彼女と探偵活動

2011年8月1日16時36分発行